

2013 株主通信  
[ 中間期 ]  
2013.4.1~2013.9.30



パンチ工業株式会社

証券コード：6165

## グローバル化を加速させ、新たなステージへ。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は、昨年12月に株式上場し、1周年を迎えることとなりました。これもひとえに株主の皆様のご支援とご厚情の賜物と心から感謝申し上げます。

当中間期におきましては、おかげさまでもちまして、期初予想を上回る好調な結果を収めることができました。また、今後の成長が見込まれる東南アジア市場において、当社グループの「製販一体」と「製造直販」を活かしたビジネスモデルを構築するため、マレーシアのパンサー社をグループ会社化し、更に、同社とインドネシアの現地有力販売会社であるソマガデ社との合併会社設立を決定いたしました。

今後も、日本、中国、インドに加え東南アジアにおいて、早期に事業基盤を確立し、グローバル化を一気に加速させるための施策にグループ一丸となって取組み、株主の皆様のご期待に添うべく邁進努力いたす所存でございます。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役会長

森久保 有司

代表取締役社長

武田 雅亮

### Q&A

株主の皆様からよくあるご質問にお答えいたします。

Q1

パンチグループの強みについて教えてください。

当社グループの最大の強みは「カタログ品と特注品」を幅広く取扱い、お客様の多様なニーズにきめ細かく対応できることとあります。これらのベースとなっているのが、1975年の創業以来40年近くにわたり、一貫してものづくりにこだわり続け蓄積してきた高度な技術力とノウハウです。

この技術力をさらに高めるべく、日本と中国の連携によりグループ技術力の強化に取り組んでまいります。



Q2

中国でトップシェアを獲得できた経緯について教えてください。

1990年、他社に先駆けて一早く進出し、現地スタッフを中心にオペレーションを展開しております。中国グループの統括拠点である大連で築き上げたマネジメントスタイルをベースに、日本と同様の一気通貫の生産体制とお客様密着型の営業体制で他の地域へ展開してきたことが奏功し、中国においてトップシェアを誇っています。

現在、重慶を戦略拠点に、成長を続ける中西部市場の攻略に取り組んでおり、中国における地位をより強固なものにするため、中国事業戦略にも力を注いでまいります。

Q3

3Dプリンターの普及がパンチグループに与える影響はありますか？

3Dプリンターは、主として試作等の少量生産がメインとなっております。製品をスピーディにかつ大量生産するには、金型が主役を担うことに大きな変化は無く、影響は限定的と考えております。当社グループでも、3Dプリンターの一種である金属光造形技術につきましては、2010年から取り組んでおり、この分野の市場拡大に期待しております。

# 中期経営計画「バリュークリエーション15」を スタート！

「攻め」と「守り」を両輪にさらなる企業価値の向上を目指します。

パンチグループでは、今年度から2015年度を最終年度とする3か年の中期経営計画「バリュークリエーション15」をスタートさせました。経営環境の変化に迅速に対応し、日本のものづくりには徹底的にこだわりつつ、グローバルに事業を展開していくことを基本とし、「世界のパンチ」を目指します。

バリュークリエーションとは、単体の収益体質改革計画の名称であり、この動きをグループ全体に展開していくという考えで、中期経営計画「バリュークリエーション15」としております。

当社グループの3つの重点経営課題に「攻め(成長戦略)」と「守り(体制・体質改革)」で取り組み、目標達成へ向け全力を尽くしてまいります。



## 「世界のパンチ」へ！

金型部品業界でのトップブランドを確立し、製販一体企業としての優位性を活かした高収益企業を目指します。

※「VC15」は「バリュークリエーション15」の略称です。

	基本戦略			重点施策	
重点経営課題	日本	中国	東南アジア他	1. グローバル化	3. 高収益事業モデルへの転換
1. グローバル化	<b>■戦略本社 グローバル事業本部新設</b> <b>■米州戦略 ■欧州戦略</b>			<b>お客様密着型の営業体制</b> ■日本 ・グローバル事業本部(戦略機能)から全方位対応 ■アジア ・マレーシアをコアにシンガポール、ベトナム、インドネシア、インドに事業基盤確立 ■欧米 ・自動車関連をコアとした特注品ビジネスの確立	<b>一気通貫の生産体制と高い技術力による高付加価値製品の拡販</b> ■日本 ・バリュー・クリエーション計画→収益体質改革の完遂 ・研究開発本部によるグループ横断のR&D体制確立 ■中国 ・戦略製品ラインアップの拡充 ■アジア ・超硬事業(守備と攻撃のレベルアップ)の拡大
2. 新市場の開拓	<b>■マーケティング</b> ・医療関連 ・食品/飲料関連 ・金属光造形技術	<b>■中西部市場攻略</b>	<b>■東南アジア新体制のフルスイング</b> ・マレーシアを製販のコア拠点とした事業基盤確立 ・インドネシア合併事業の早期立ち上げ <b>■インド</b> ・自動車の深耕と家電攻略	<b>高い技術力を活かし新分野・新市場の開拓</b> ■日本 ・グローバル事業本部(マーケティング機能)から全方位対応と、医療、食品等での新市場開拓 ■中国 ・重慶を戦略拠点に中西部市場の攻略 ■アジア ・国内及び中国戦略横展開の足場固め	
3. 高収益事業モデルへの転換	<b>■R&amp;D</b> ・研究開発本部	<b>■戦略製品拡販</b>	<b>■超硬事業拡大</b>		

## 東南アジアを中心にネットワークを強化

当社グループは、中期経営計画「バリュークリエーション15」に基づき、中国中西部及び東南アジア等の成長市場での事業基盤確立に取り組んでいます。

当中間期においては、マレーシア、シンガポール、ベトナム、インドネシアにおいて新たに製造・販売拠点をグループ会社として新設しました。この結果、当社グループのグローバルネットワークは国内＝製造拠点4か所・販売拠点14か所、海外＝製造拠点7か所・販売拠点35か所へと拡大いたしました。

今後も引き続き、東南アジアをはじめ米州、欧州などへの販路拡大を行い、「世界のパンチ」を目指してまいります。

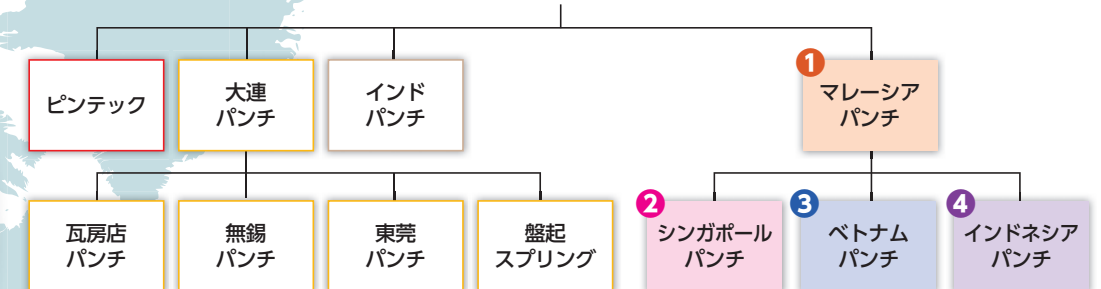
### Topics

#### グローバル事業本部を新設

当社では、事業環境の変化に対応し、グローバル事業戦略を推進するため、2013年11月1日にグループ会社の事業統括、グローバル経営管理及びマーケティング機能を有した「グローバル事業本部」を新設しました。



## パンチグループ新体制



1	<b>マレーシアパンチ</b> PANTHER PRECISION TOOLS SDN. BHD. (注)1	東南アジアグループ統括兼製造拠点 所在地: マレーシア・ペナン
2	<b>シンガポールパンチ</b> PANTHER PRECISION TOOLS PTE. LTD. (注)2	販売会社 所在地: シンガポール
3	<b>ベトナムパンチ</b> PUNCH INDUSTRY VIETNAM CO. LTD.	販売会社 所在地: ベトナム・ホーチミン
4	<b>インドネシアパンチ</b> PT PUNCH INDUSTRY INDONESIA	販売会社 所在地: インドネシア・ジャカルタ

(注) 1. PANTHER PRECISION TOOLS SDN. BHD. は、PUNCH INDUSTRY MALAYSIA SDN. BHD. へ社名変更予定です。  
 2. PANTHER PRECISION TOOLS PTE. LTD. は、PUNCH INDUSTRY SINGAPORE PTE. LTD. へ社名変更予定です。  
 3. マレーシアパンチの販売子会社であるPANTHER PRECISION TOOLS (KL) SDN. BHD. は、マレーシアパンチへ事業を移管したため、清算予定です。

#### 製造拠点

国内 4か所	海外 7か所
北上工場	●中国
宮古工場	盤起工業(大連)有限公司 盤起工業(大連)有限公司 重慶工場
兵庫工場	盤起工業(瓦房店)有限公司 盤起工業(無錫)有限公司
株式会社ピンテック	盤起工業(東莞)有限公司 盤起弾簧(大連)有限公司
	●マレーシア
	PANTHER PRECISION TOOLS SDN. BHD.

#### 販売拠点

日本 ..... 14か所	マレーシア ..... 1か所
中国 ..... 30か所	シンガポール ..... 1か所
インド ..... 1か所	ベトナム ..... 1か所
インドネシア ..... 1か所	

■ 中間期の業績について

当中間期は自動車関連の伸びに加え、家電・精密機器関連の回復の兆しや医療・飲料関連等の新規分野の伸長もあり、連結売上高は13,575百万円(前年同期比10.7%増)となりました。

また、利益面につきましては、売上高の増加や兵庫工場の稼働向上等による原価率の良化や、昨年からの取組んでおりますバリュー・クリエーション活動による収益体質改革の効果も見え始め、営業利益は419百万円(同25.7%増)となりました。なお、経常利益は、為替等の影響により329百万円(同13.4%減)、四半期純利益は167百万円(同30.4%減)となりました。

■ 通期の見通しについて

当中間期の業績が期初予想を上回ったことを受け、2013年10月25日に「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしましたとおり、通期の連結業績予想を上方修正いたしました。引き続き、業績の確保に向けてグループ一丸となって努力してまいります。

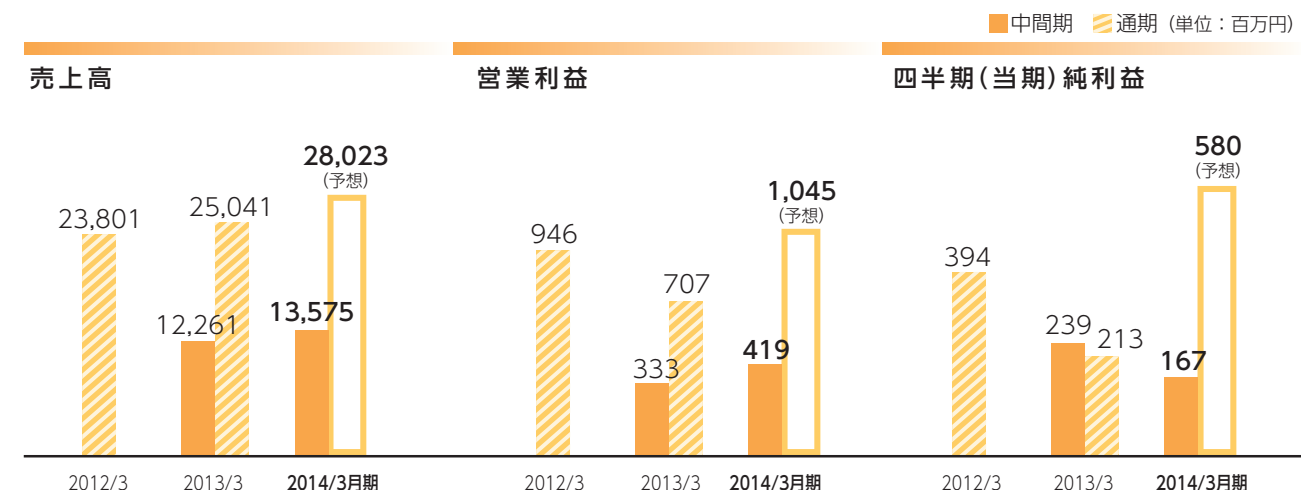
2014年3月期 業績予想概況 (単位：百万円)

	2013年 3月期 (実績)	2014年3月期	
		期初予想 (5月公表)	修正予想
売上高	25,041	26,542	28,023
営業利益	707	917	1,045
経常利益	822	748	839
当期純利益	213	536	580

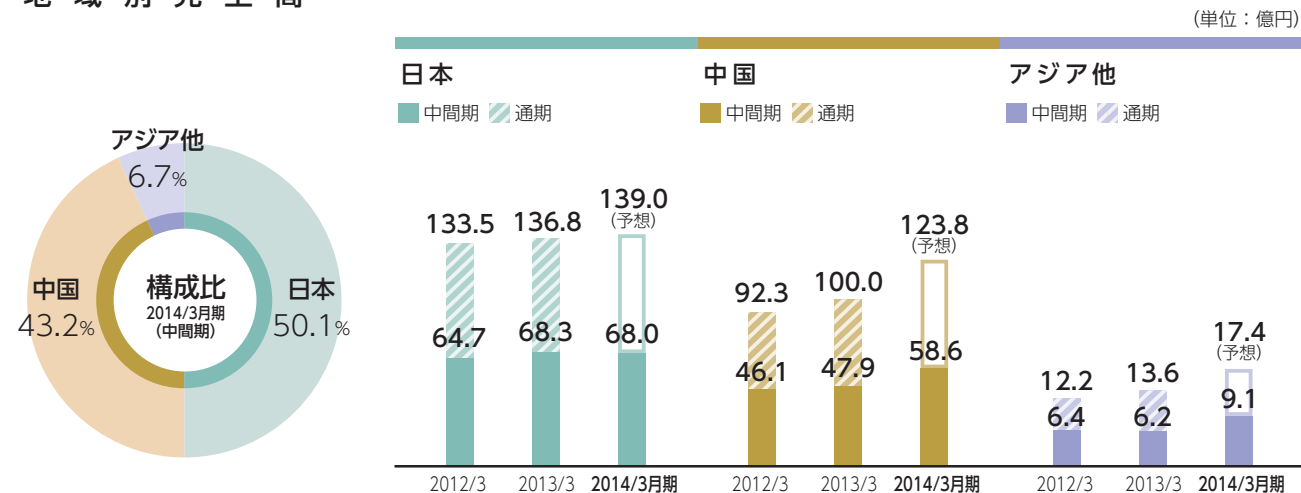
■ 配当について

2013年11月11日に「剰余金の配当(中間配当)に関するお知らせ」で公表いたしましたとおり、配当基本方針に基づき、今後の経営環境及び事業展開等を総合的に勘案した結果、当初予想どおり1株あたり7円50銭とし、上場後初の中間配当を実施することといたしました。

■ 連結財務ハイライト



■ 地域別売上高



四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期末 2013年9月30日現在	前期末 2013年3月31日現在
資産の部		
流動資産	13,642	12,463
固定資産	9,990	8,110
有形固定資産	7,651	6,654
無形固定資産	1,801	264
投資その他の資産	538	1,191
資産合計	23,633	20,573
負債の部		
流動負債	12,716	11,897
固定負債	4,416	2,950
負債合計	17,133	14,847
純資産の部		
株主資本	5,673	5,649
資本金	674	674
資本剰余金	403	403
利益剰余金	4,596	4,572
その他の包括利益累計額	826	76
その他有価証券評価差額金	0	20
為替換算調整勘定	825	55
純資産合計	6,500	5,726
負債純資産合計	23,633	20,573

四半期連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 2013年4月1日から 2013年9月30日まで	前年同期 2012年4月1日から 2012年9月30日まで
売上高	13,575	12,261
売上原価	10,125	9,284
売上総利益	3,449	2,977
販売費及び一般管理費	3,030	2,643
営業利益	419	333
営業外収益	36	144
営業外費用	125	97
経常利益	329	380
特別利益	0	0
特別損失	42	14
税金等調整前四半期純利益	288	366
法人税等	121	126
四半期純利益	167	239

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 2013年4月1日から 2013年9月30日まで	前年同期 2012年4月1日から 2012年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	557	812
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,221	△1,154
財務活動によるキャッシュ・フロー	231	189
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,439	1,623

会社概要

商号	パンチ工業株式会社
創業	1975年(昭和50年)
資本金	6億7,420万円
従業員数	連結 3,716名
本社所在地	東京都港区港南二丁目12番23号 明産高浜ビル8F TEL.03-3474-8007(代表)
事業内容	金型用部品の製造・販売
取引銀行	三菱東京UFJ銀行、みずほ銀行、 三井住友銀行、りそな銀行、 三井住友信託銀行

役員

代表取締役会長	森久保 有司
代表取締役社長	武田 雅亮
常務取締役	杉田 進
取締役	真田 保弘
取締役	村田 隆夫
取締役	八木 裕之
取締役(社外)	横山 茂
常勤監査役	佐々木 信也
常勤監査役	木 對 紀夫
監査役(社外)	安藤 良一
監査役(社外)	松江 頼篤

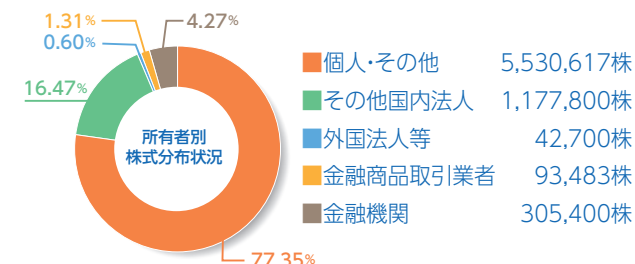
株式の状況

発行可能株式総数	20,000,000株
発行済株式の総数	7,150,000株
株主数	2,169名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
株主名	株	%
エム・ティ興産株式会社	1,090,000	15.24
森久保 有司	972,000	13.59
パンチ工業従業員持株会	808,800	11.31
森久保 哲司	650,000	9.09
神庭 道子	310,000	4.33
森久保 博久	100,000	1.39
阿川 正司	80,000	1.11
神庭 慎司	80,000	1.11
森久保 やよい	80,000	1.11
株式会社三菱東京UFJ銀行	80,000	1.11

※持株比率は、小数点第2位未満を切り捨てて表示しています。

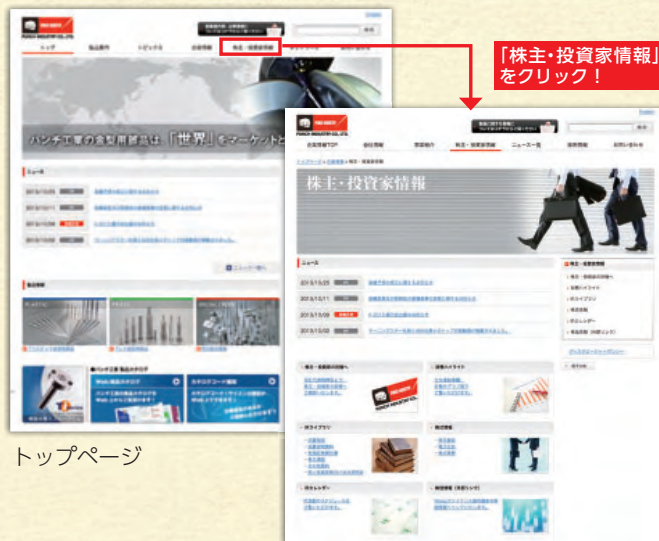


## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日
定時株主総会	毎年6月
公告方法	電子公告により行います。 公告掲載URL <a href="http://www.punch.co.jp/companyinfo/">http://www.punch.co.jp/companyinfo/</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します)
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第二部
単元株式数	100株

## ホームページのご案内

パンチ工業株式会社のホームページでは、会社情報、事業紹介、IR情報をはじめ、さまざまな情報を掲載しております。



トップページ

株主・投資家情報ページ

<http://www.punch.co.jp/>



## パンチ工業株式会社

本社：〒108-0075  
東京都港区港南二丁目12番23号 明産高浜ビル8F  
TEL.03-3474-8007 FAX.03-3471-8100



見やすくまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

